

5Gエンドツーエンドソリューションの実証実験 ～つながる、感じる、異空間：リアルとバーチャルが融合する近未来通信～

■ライブデモでは、ARグラスを用いたリアルとバーチャルな空間の融合する近未来通信が体験できます。



■高周波数帯（28GHz）を用いた超高速5G無線伝送技術を、ドコモとファーウェイが共同実験で検証します。

特長

- 超高速：超多素子アンテナ技術（massive MIMO）や、ビームフォーミングなどの技術を検証。シングルユーザのスループットが18～20Gbps、セル単位では32Gbps以上を実現。
- 端末小型化：小型・低消費電力、PoE給電、自然空冷、最もコンパクトな屋外用5G端末。

5Gシステム構成

Core ベースバンド AAU CPE

5G 基地局装置 自然空冷の商用mMIMO (2019年)

4.5U 2U 0.5U

4G ASIC + FPGA 5G ASIC 5G Baseband Card Macro AAU (28GHz) Micro AAU

5G CPE端末

Outdoor Indoor Indoor Pocket WiFi Huawei Chip & Other Chips

@中国上海、シングルユーザMIMO ピックスループット

BS 4T4R

Peak Thp.: 18.5Gbps @800MHz, 4 layers

マルチユーザMIMO ピックスループット

Building A BS 4T4R *2

Building B (Face to A)

TUE1 TUE2 TUE3 TUE4

Peak Thp.: 32.5Gbps @800MHz, 8 layers

めざす未来

超高速通信に加え、長距離・超低遅延伝送・移動性を含めた実用性の高い5G無線アクセス技術の総合的実験を実施します。